「病気の子どもの教育支援フォーラム」（12/4開催）の質問と回答

【回答者：副島賢和　先生】

１　講演会中に聞くことが出来なかった質問をここでさせてください。

病弱教育のこれからを考えるうえで、もっと研究されるべきテーマなどは何があるとお考えですか？今回の講演から、ICTの活用と病弱教育の可能性は1つあげられると思いますが、それ以外にも考えていらっしゃるものがあればお教えください。

|  |
| --- |
| （１への回答）AYA世代への対応精神疾患や心身症のある子どもたちへの対応病気のある子どもに関わる教師の育成その他 |

２　これから病弱教育がさらに発展していくために必要とされることとして何かあれば教えて頂きたいです。私は今日の講演会を受けて、入院しているお子さんに対する支援があることで、治療や回復に対する効果がしっかりと証明されていないという事実を知りました。私はこうした効果が根拠と共に示されることで、よりこうした支援の体制も整いやすくなるのではないかと思います。そうしたデータを集めることもこれからのこの領域の発展のために必要な事だと考えます。このような形で、何かお考えがあればお聞かせ頂きたいです。

|  |
| --- |
| （２への回答）病気のある子供に関わる教師の育成と教育の充実いわゆる弱者と言われている方々への関わりを考える活動まだまださまざまな課題があります。教育は全ての人が受けたことや関わったことがあるので身近です。しかし、だからこそ、客観的な資料やデータも必要であると考えております。 |

３　私は卒業研究で病弱教育のことを取り上げたいと考えています。それにあたり、日本や海外で先進的な取り組みや研究をしているところや、今注目すべき団体、テーマなどがあれば教えて頂きたいです。また、参考にできる本などがありましたらそれもご紹介頂けると嬉しいです。

|  |
| --- |
| （３への回答）YourSchoolや秋田病弱支援など、学生さんたちの団体が全国に立ち上がっております。その辺りの研究は、まだまだ未知です。 |

４　副島先生へ

　　４つの感情の困っている・不安・悲しい・寂しいの２つを表さない子どもにどのように接していくべきでしょうか。自分の子ども（小学６年女子）です。

|  |
| --- |
| （４への回答）　ご本人のことを直接知らないので、一般的なお話になってしまうことをお許しください。感情を表すのが苦手な子供たちがいます。感情を表すスキルを持っていないのか。感情を表すとネガティブな感情が湧き上がってくるのか。感情を表し自分のことをダメだと考えてしまうような認知があるのか…それらを見極め、どこを育んでいけば良いかを見定めて、関わりを決めていく必要があると考えております。大切なことは、その瞬間、そのお子さんが何歳くらいに見えているかということとや受容はするが許容はしないということ、そしてその子の感情を表情や行動から読み取り、言葉で返していく関わりを続けていくことだと考えています。もちろん、とても時間がかかる関わりです。そして、6年生くらいの思春期にあるお子さんは、ただでさえ、感情を伝えることが難しいかもしれません。そんな自分もダメではないということが伝えわる関わりを考えていただけたらと思います。 |

５　学校と病院側が情報を共有できる場、又は情報共有が実際にできている成果があったご経験があればお聞きしたいと思いました。

|  |
| --- |
| （５への回答）　病院とのカンファレンスに教師も入ります。普段から、お話ができる関係になっていくことも有効です。守秘義務がありますが、信頼関係のもと、集団守秘義務を行う必要があると考えております。 |